原稿

前置き（井上）

　チームGE★RAの発表を始めます。

★

　項目は以下の通りです。

1.アプリの説明

　　アプリの説明に入ります。

★

　　まず初めに「皆さんには推しがいますか？」

★

**推しの説明（推しとは）**

　・GERA調べでは、人に進めたいと思うほど好感を持つ対象のことを言います。

今回利用者として想定した吉田さんにも推しがいるのです！

★

**利用者の想定（吉田）**

　・吉田さんは、毎日仕事が忙しく、家に帰った後もダラけた生活を送っていました。

　　やりたいことがあるが、やる気が出ない。

・ただ、アイドルの大ファンである。

私たちは「推し」の存在が、**吉田さんのような社会人**の生活を充実したものにするのではないかと思い、★「推しによるリスト管理、推しリス」を提案します。

★

**推しリスとは**（篠原、鈴木）

　・スマホでの使用を想定した、リスト管理アプリです。

　・ただし、ただのToDoリストではありません！

　・違いとしては、使用者が予定を作るのではなく、自動リスト作成機能によって推しが予定を管理する。

　・予定をクリアすると、推しからメッセージがもらえるので、モチベーションを保ったまま充実した毎日を過ごすことができる。

★

2.アプリ概要

**・ログインページ**

　ログインしたら推しがお出迎えしてくれる。

★

**・予定の作成ページ**

→ログインすると予定の作成画面に推しの写真が出てきます。

　→予定作成ページでは、日付を取得し「平日」「休日」が自動で選択される。

　　主導で選択可能になっている

祝日対応、仕事が何曜日休みかの設定を実装したかったです。

★

**・リストページ**

　→リストページではランダムに選択された予定が「家事」が2つ、「仕事」が2つ

「インドア・アウトドア」が2つの計6個表示されています。

また、土日の予定は「仕事」の2つがなくなり、「インドア・アウトドア」が4つ

　→ミッション（予定）を達成したら、チェックボタンで記録ができます！

　→一日の終わりに「推しに達成報告をする」を押すと、達成ページへ飛びます。

★

**・達成報告画面**

　→この画面では、クリアしたミッション（予定）の数に応じて推しからの反応が変わります。

　　推しの写真や、ボイス等

　→クリアした予定の難易度に応じてポイントが獲得でき、そのポイントに応じて「称号」が変わります。

★

**・推し設定ページ**

　→推しの画像と推しのボイスを設定できるページ

　→達成した予定が4個以上の際に表示される「褒め写真」「褒めボイス」4個未満の際に表示される「叱り写真」「叱りボイス」、リスト作成ページに表示される「その他の写真」「その他のボイス」の設定ができる。

　→写真をタップすると設定ができる。

★

**・イベント編集画面**

　→イベント名（予定）、「家事」等のイベントタイプ、イベント難易度を決め、登録することができる。

　→登録したイベント情報が表示され、先ほど述べた３項目の変更、ランダムで作られる予定に選択されるか否かを設定する「有効」「無効」の設定と削除を行うことができる。

予定の編集ページには検索機能をつけたかったです。

★

**・履歴をカレンダー式にした（モーダル）**

　→カレンダーが表示され、日付をタップするとその日の予定の履歴を見ることができる。

　　→もしも「推しへの達成報告」ができていない日があった場合は、このページから「推しへの報告ができる。その場合には、獲得できるポイントが半減する

/\*・全体で追加したかった機能

推しの対応の冷たさが変わる甘口・辛口設定と、

一緒に遊ぶ友人まで選択される機能を追加したかった。\*/

３.工夫した点　（本橋）

* ランダムで作成される予定は連続で同じ予定が入らないように設定しました。

（2つ日間感覚を空ける）

* 画像とボイス

→設定した際に、画像がファイル名ではなく画像そのものが表示される。

→画像タップで画像選択に移ることができる。

* 1日開かない時と達成できなかった時の対策（履歴など）を行った。

→達成画面までいかなかった場合と、そもそも予定を作成していないときのモーダルウィンドウ表示の分岐

* リストのチェックボックス一つでデータが送信できるようにした
* ログイン時にその日のリストの有無や達成済みかどうかによってTOPページが変わるように設定しました。

４.問題点・苦労点(4.克服方法?)（山本）

**・グループ開発**

　　→（標準化）言葉の意味や画面の遷移等のイメージを共有すること

　　→自分の理解があっているか確認する（復唱等）、ドキュメントに定義をしっかり定めて書いておく

　　→（分業）ほかの人が作ったプログラムに対する理解が難しい

　　→自分から積極的に質問し学びに行く姿勢

　　→オンライン・大人数ということもあり、話すタイミングやタイムスケジュールが難しかった

　　→年も近いので、普通の話やお互いのことを知ることで、言い合える雰囲気を作る

**・技術的**

　　→（DBの関連性）どの情報とどの情報が繋がるのか混乱する

　　→（可視化）どこがどうつながるかをイラスト等でまとめ、可視化したことで整理した。

　　　設計段階では、ホワイトボードに流れと使っているデータを書いてまとめた。

　　→（Servlet、DAOの理解）画挿入された画像の更新処理が本当に大変…

　　→（サンプルコード見てイメージ）ひたすらサンプルコードを一文ずつ見て、理解する。サンプルコードと照らし合わせながら作成する。

　　→（どのファイルでどのような作業をするか）設計段階で想定しきれなかったため、自分たちのイメージに合った動きにするためにはどのファイルでどのように処理を書くのかの理解に苦戦した。Servletなのか、JSPなのか、、、JSなのか。

　　→（各言語の理解を深める）各言語の得意と不得意を理解し、組み合わせることで、理想に近づけていく作業が重要

５．5月から成長した点(研修を通して)（尾辻）

　・分業における要点

　　→Slackや進捗確認の時間を多くとり、こまめに報告・連絡・相談をして、お互いに作業しているファイルや進捗を共有しておく

　・共通認識

　　→１日３回ほど進捗確認

　・質問する

６．課題と展望

**・要件定義や外部設計、内部設計の段階で細かく決めるところを明確に考えられていなかった**。

　→外部設計書の画面デザインとネーム属性の詰めの甘さ

　→DBやファイル構成ももっと簡単にできたかも、、、

　→見やすいプログラムを書く

**・GitHubでのファイル共有**

　→同じファイルの編集や意味が不明なエラーにかき回される

　→報告・連絡・相談をこまめに。全員が全体の動きをしっかりと把握する。